

一九八一年四月二十五日
発行



第 64 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 陂渠灌漑下の稲作技術……………米田賢次郎 (1)
徳川頼宣の藩教学思想……………柴田純 (33)
——近世における「学文」の性格——
現代歴史学と数量的方法……………芝井敬司 (61)

調 査 報 告

- 京都府長岡京市カラネガ岳一・二号古墳の
発掘調査……………岡内三真, 和田晴吾, 宇野隆夫 (96)

研 究 ノ ー ト

- 気候変動とナイル氾濫レジーム……………中島健一 (140)
——とくに、灌漑農法とファラオ体制によせて——

紹 介

- 木簡学会編『木簡研究』第二号 (西山良平)
山本四郎編『寺内正毅日記1900~1918』 (松延秀一)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

謀本部次長（『参謀次長』）に任せられた年であり、一九一八年は米騒動により首相を辞任した年である。この間に寺内は陸相・朝鮮総督・首相として政治の中枢に関与したわけである。

刊本の冒頭には編者による解題が付されているが、編者のもっとも精通している時期だけに解題の内容は詳細をきわめ、各年ごとにまとめられている。日記本文で分量が多く書かれているのは、寺内の陸相時代即ち日露戦争・桂園時代である。それ以降になると欠落が目立つようになってくる。

肝心の首相時代にそれが著しく、西原借款・シベリア出兵・米騒動といった事項についての記事はなぎに等しい。これは晩年の寺内が健康を害したために、記録するだけの余裕を失ったためであろう。それゆえ首相時代の日記は政治資料としては余り多くを期待できない。『原敬日記』等と併読するべきであろう。

「あとがき」では、東京に存在する多くの根本史料の早急な公刊を訴えている。実際、この日記の公刊は、『第二次大隈内閣関係史料』（これは憲政資料室の望月小太郎にかかわる文書群を活字化したもの、一

九七九年）にひきつづき「京都女子大学研究叢刊」の一冊としてなされたものであり、つまりは一私大の財政に負ったことになるであろう。

なお使いやすさからすれば、もう少しコンパクトな製本のやり方ができなかったものかとの思いは残る。

いずれにしても、この日記の公刊はこの時期の政治史研究を大きく進めるであろう。

（A5判 七五八頁 一九八〇年十二月
発行所「京都女子大学 印刷所」同朋舎
（松延秀一 京都大学大学院生）

「幸徳秋水の手紙と

ノート」について訂正

本誌六三巻四号（一九八〇年七月発行）に発表した「幸徳秋水の手紙とノート」について、教人の方々から御教示を賜わった。専門外の領域で不備な点が多く申しわけない次第だが、御教示を賜わった方々に感謝し、左の三か所を訂正したい。（石田善人）

① 一〇〇ページ下段八行目

「廿城剣と書と真底の事、浩歌且らかに和す夜濤の声」と読下したのを、「廿城の剣書真に底事ぞ、浩歌且つ和す夜濤の

声」に訂正、剣書はふつうは書剣と書き、書生のこと、したがってこの句は二〇年間の書生生活の慨歎を示し、一〇二ページ上段一行目の「激越な文言」という評言も改める必要がある。

② 一〇七ページ下段一八行目

「俄国は我国で清国をさす」は「俄国は俄羅斯国で露西亜（ロシア）をさす」の誤まり。

なお、この演説稿については『鷹陵史学』第一号（一九七五年三月）に、狭間直樹氏が「幸徳秋水の第一回社会主義講習会における演説について」と題する紹介文で、邦語訳に詳細な注釈をつけておられることを教えられた。

③ 一一八ページ下段九行目

「対君」は「刘君」の誤まり。

「寺内内閣時代の日中関係の

一面」について訂正

本誌第六四巻第一号（一九八一年一月発行）所載の山本四郎氏の論文（寺内内閣時代の日中関係の一面）の英文レジュメ中に誤りがありますので、左のように訂正さ

せていただきます。(編集委員)

一四八頁三行目、同一二行目

Sakanishi → Banzai

受贈 図書

(一九八〇年一月一七日〜二月一八日)

斯道文庫論集(慶応義塾大学斯道文庫)

一六

兵庫史学(神戸大学兵庫史学会) 六九

歴史学と歴史教育(歴史学と歴史教育の

会) 一八

人類学雑誌(日本人類学会) 八七―四

社会科学(朝鮮社会科学院図書館) 一九

七九―五

化粧文化(ポロラ文化研究所)

関学西洋史論集(関西学院大学関学西洋史

研究会)

史学科報告(鹿児島大学教養部) 二八

神道学(出雲大社内神道学会) 一〇四

日本思想史研究(東北大学日本思想史研究

室) 一一

研究紀要(尾道短期大学) 二九

胡充恭著 明末農民起義和清斗争史稿(南

京大)

一

太平天国史料專輯(南京大学) 中華文史論

叢刊

彦根論叢(滋賀大学経済学会) 四一

経済経営論集(竜谷大学経済経営学会)

一九―三

近世史論(国学大学近世史研究会) 一

歴史科学(朝鮮社会科学院図書館) 一九

七九―四

社会科学(朝鮮社会科学院図書館) 一九

七九―六

文化語学集(朝鮮社会科学院図書館)

一九七九―四

編集 後記

新緑がみずみずしく目に映る季節となりましたが、読者の皆様はかがお過ごしでしょうか。六四巻三号をお届けします。

本号も米田・柴田・芝井氏の論説と中島氏の研究ノートを寄稿頂き、多彩な内容となりました。中国における農業の展開、江戸時代の大名の支配思想、歴史学における数量的方法の意義、エジプトにおける気候変動と農業・フアラオ体制の関係と、興味深いテーマをとり上げた力作ぞろいです。いずれも十分に御吟味下さるよう、お願

い申し上げます。なお芝井氏の数量的方法の評価に対しては編集委員から多くの意見が提出され、今後の氏の具体的な研究成果が期待されたことを付記します。

また調査報告は本学考古学研究室が四年間にわたって発掘・整理作業を行った成果をまとめたものです。写真・図面も多く掲載することができ、調査担当者の一人として喜びの多い号となりました。

なお、常松洋氏、奥村哲氏、堀川徹氏、永井和氏の後任として、長倉敏氏、田中俊明氏、井谷鋼造氏、桂川光正氏が新たに編集委員に着任されました。(宇野)

一九八一年四月二五日印刷 定価九〇〇円
一九八一年五月一日発行

史 林 (第六四巻第三号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

発行人 史 学 研 究 会

理事長 樋 口 隆 康
振替京都五一五五番

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXIV No. 3 May, 1981

CONTENTS

Articles:

- The Skilled level of Rice Cultivation under the
Irrigation by *Dikes and Reservoirs* 陂渠K. Yoneda (1)
- The Edificatory Thought of *Tokugawa Yorinobu*
徳川頼宣J. Shibata (33)
- Quantitative Methods in Contemporary Historiography ...K. Shibai (61)

Report on the Excavation:

- A Report on the Excavation of the *Karanega-take* カラ
ネガ岳 Burial Mound No. 1 and No. 2 in *Nagaokakyo-*
shi, Kyoto 京都府長岡京市M. Okauchi, S. Wada, T. Uno (96)

Notes:

- Climatic Change and flood regime of Nile.....K. Nakajima (140)

Miscellaneous:

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369